



たんぽぽぐみだより

2025年度 11月号

尚徳福祉会 おぐら保育園

秋も深まり園庭の木々の落ち葉や枯れ葉を手にしては、秋の自然の変化を感じ取っています。いろいろな遊びや経験を重ね、子どもたちはぐんと成長する時期です。自分の思いをみんなの前で言えるようになってきたり、イメージを持って遊び始めたり、またそれを共有することで遊びの幅が広がりを見せています。子どもたちの成長を見守りながら、日々の保育を楽しく繰り返していきたいと思っています。

☆散歩☆

ちゅうりっぷ組とおぐら下町公園に行きました。久しぶりの散歩ということで出発前には交通ルールを再確認しました。ちゅうりっぷ組と手を繋いで歩くと、交通ルールを意識して『こっちだよ』と歩道側を歩き頼もしい姿が見られました。

公園に着くと、仲のいい友だちと遊んだり、異年齢で交流したりと楽しんでいました。特に、船の固定遊具では『海賊船だぞー』と海賊になりきって？いる子どもたちでした。園に戻る時間になると『やだーもっと遊ぶ』という子が多かったのですが【給食】というワードを言うと『お腹空いたから帰る』と気持ちの切り替えが早かったです。今月にはバス遠足が控えているので、楽しみです。

☆席替え☆

子どもたちからのリクエストでくじ引きで席を決めました。くじ引きの前から『〇〇くんと同じグループがいいな』と願っていた子どもたち。順番にくじを引いていき、番号が書いてある席に座ると『隣は〇〇くんだ。〇〇ちゃんだー』と喜び合っている姿が見られました。席が変わったことで、友だちとのかかわりが変わり、普段遊ばない子とも遊ぶようになり、友だちの輪が広がっていくと思いますので、見守ってきたいと思います。



☆運動会☆

今年のたんぽぽ組のテーマは【日頃の保育を披露する】でした。運動会だから〇〇を練習するのではなく、日頃していることを披露できたらなと思い、4月からさまざまなことに挑戦してきました。そのため、子どもたちは率先して取り組み、外部の方にも『ここのクラスは楽しそうで笑顔がいいですね』と褒められることもありました。当日は全員で参加することができ、力いっぱい活躍を見せてくれました。登園をすると、少しそわそわしていた子どもたち。『なんか緊張するね』『ドキドキするね』と話していました。

運動会を通して、できなかったことができるようになり、「できた」と笑顔に変わる場面をいっぱい見せてもらいました。たくさんの頑張りの成果で運動会ではどの演目も格好よく、自信に満ちた表情でご家族の方に見てもらうことができました。「できない」を「できた」に変えた子どもたち。運動能力や体力の身体的なことはもちろん、心も大きくたくましくなったと感じています。また、一つの目標に向けて皆で頑張ることができたこと、そしてそれを成し遂げることができたということが、この運動会で得た何よりの成果ではないかと思っています。ご家族の方には運動会に向けて体調管理やたくさんの励ましや支え、当日はあたたかい応援や拍手をありがとうございました。